

催吐リスク Moderate

腸 CPT125/d1,15+s-1/d1-14/c28d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤	経口		mg		1-14
ブチルスコポラミン	注射	20	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL 30	1
イリノテカン	125	mg/m ²	生食	250 mL 90	1,15
				mL	
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)白血球 $\geq 3.500/\text{mm}^3$ 、好中球数 ≥ 1.500 、血小板数 ≥ 100.000 、ヘモグロビン:9.0g/dL以上、総ビリルビン:施設正常値上限の2.0mg/dL以下、AST(GOT)・ALT(GPT):施設正常値上限の2.5倍以下

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

【ティーエスワン】

以下の減量基準に該当した場合、1段階減量。1段階減量後、再度減量基準に該当した場合は更に1段階減量する。

- ・非血液毒性:下痢・口内炎 G2 以上、クレアチニンクリアランス 60ml/min、その他の非血液毒性 G3 以上
- ・血液毒性:白血球数:1,000/mm³以上、好中球数:500/mm³、血小板 50,000 /mm³

【塩酸イリノテカン (イリノテカン 塩酸塩点滴静注液「タイホウ」)】

好中球数<500、血小板<50,000、Grade3 以上の消化器系有害事象発現時、次回より投与量を80%に減量

Ⅳ .重大な副作用(例 :好 中球減少 Grade3 以上 37.5%)

主な G3 以上の副作用:好中球減少 35%、下痢 20%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

Lancet Oncol. 2010 Sep;11(9):853-60.